

大学編入

教 科 目 名	基礎英語	担当教師名	持富勇一
	Basic English		
学科・学年・期	全学科・1学年・前期	必選・単位数	選択・1単位

[授業の目標・方針]

TOEICテストのリスニングセクションに的を絞り、各パートで必要とされる表現について学ぶ

[履修に必要なこと]

高校卒業程度の英語力を要す。常時英和辞典を用意する事。

[成績評価方法]

読解力、積極的発言、定期試験を総合的に判断す。

[教科書]

[参考書]

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	練習問題	状態を説明する表現
第 2 回		会話文問題で役に立つ表現
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回		
第 6 回		丸ごと覚える定型表現
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		よく出る場面別表現
第 1 0 回		
第 1 1 回		
第 1 2 回		
第 1 3 回		
第 1 4 回		
第 1 5 回		

教 科 目 名	英会話	担当教師名	持富勇一
	English Conversation		
学科・学年・期	全学科・1学年・後期	必選・単位数	選択・1単位

[授業の目標・方針]

オフィス環境全体を視野に入れ、電話、パソコン、会議、交渉、人事まで幅広いジャンル、特にマルチメディアを重視したビジネス英会話の習得を目指す。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

記述式が中心の定期試験を行う。受講態度を加味して評価する。

[教科書]

[参考書]

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ビジネス英会話	電話とオフィスコミュニケーション
第 2 回		
第 3 回		ワープロ、パソコン
第 4 回		
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		セールス、会議、交渉、契約
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		生産、財務、総務、交際、出帳
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		

教 科 目 名	ドイツ語 I	担当教師名	坂井 済
	Deutsch I		
学科・学年・期	全学科・2 学年・後期	必選・単位数	選択・1 単位

[授業の目標・方針]

日常生活の様々なシーンで必要とされるドイツ語の力を身につける。基本的文法をふまえて聞く・話す・読む・書くの 4 技能を総合的に学習する。

[履修に必要なこと]

独和辞典を用意する事。

[成績評価方法]

授業態度、小テスト、定期試験で総合的に判断する。

[教科書]

[参考書]

[授業計画]

回	項 目	内 容	
第 1 回	表現演習 聞く・話す 読む・書く	ガイダンス アルファベットとスペリング。 挨拶と自己紹介。	
第 2 回			
第 3 回			
第 4 回			
第 5 回		文法の確認①	
第 6 回		数字について。 年齢と時間について。 出身や住まいについて。	
第 7 回			
第 8 回			
第 9 回		文法の確認②	
第 10 回		他の国、言葉、首都について。 勉強について。 アルバイトについて。	
第 11 回			
第 12 回			
第 13 回			
第 14 回		定期試験	第 1 回～第 1 4 回の確認問題
第 15 回			

教 科 目 名	ドイツ語Ⅱ	担当教師名	坂井 済
	Deutsch II		
学科・学年・期	全学科・2学年・後期	必選・単位数	選択・1単位

[授業の目標・方針]

ドイツ語Ⅰの内容を更に発展させる。自分で辞書を引き理解できるレベルになることが目標。

[履修に必要なこと]

独和辞典を用意する事。

[成績評価方法]

授業態度、小テスト、定期試験で総合的に判断する。

[教科書]

[参考書]

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	表現演習 聞く・話す 読む・書く	ガイダンス
第 2 回		ドイツ語Ⅰの文法の復習
第 3 回		形容詞を使った表現
第 4 回		
第 5 回		文法の確認①
第 6 回		時制を使った表現
第 7 回		現在・未来・過去・現在完了
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		文法の確認②
第 11 回		
第 12 回		頻度を表わす副詞を使った表現
第 13 回		接続法を使った表現
第 14 回		
第 15 回		定期試験

教 科 目 名	微分積分 I	担当教師名	本田薫
	Differential and integral A		
学科・学年・期	情報処理科・1 学年・前期	必選・単位数	選択・3 単位

[授業の目標・方針]

工業系の技術に必要な微分積分の基礎を学ぶ。極限の計算ができること、基本関数の微分計算ができることを目標とする。

[履修に必要なこと]

高校程度の数学の知識を有すること。

[成績評価方法]

レポート課題を中心として総合的に評価する。

[教科書]

高専の数学 2 田代嘉宏/難波完爾 森北出版

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	数列	等差数列と等比数列
第 2 回	無限数列	無限数列の極限、無限級数とその和
第 3 回	整式の導関数	関数の極限值
第 4 回	整式の導関数	微分係数・導関数の計算
第 5 回	整式の導関数	接線と速度
第 6 回	関数の増減	関数の極大・極小
第 7 回	関数の増減	関数の最大値・最小値
第 8 回	いろいろな関数の導関数	関数の極限と連続性
第 9 回	いろいろな関数の導関数	合成関数とその導関数
第 10 回	対数関数の導関数	対数関数の導関数の計算方法
第 11 回	指数関数の導関数	指数関数の導関数の計算方法
第 12 回	三角関数の導関数	三角関数の導関数の計算方法
第 13 回	導関数の応用	関数の増減と極大・極小
第 14 回	導関数の応用	方程式・不等式への応用
第 15 回	導関数の応用	方程式・不等式への応用

教 科 目 名	微分積分Ⅱ	担当教師名	本田薫
	Differential and integral B		
学科・学年・期	情報処理科・1学年・後期	必選・単位数	選択・3単位

[授業の目標・方針]

工業系の技術に必要な微分積分の基礎を学ぶ。積分の意味を理解し、計算手法について学ぶ。また、偏微分の基礎について学ぶ。

[履修に必要なこと]

微分積分Aの内容を理解していること。

[成績評価方法]

レポート課題を中心として総合的に評価する。

[教科書]

高専の数学2 田代嘉宏/難波完爾 森北出版

高専の数学3 田代嘉宏/難波完爾 森北出版

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	不定積分	基礎的な不定積分
第 2 回	不定積分	置換積分法
第 3 回	不定積分	部分積分法
第 4 回	定積分	基礎的な定積分
第 5 回	定積分	置換積分法
第 6 回	定積分	部分積分法
第 7 回	定積分の応用	さまざまな関数で作られる面積
第 8 回	定積分の応用	さまざまな関数で作られる体積
第 9 回	偏導関数	2変数関数
第10回	偏導関数	偏導関数
第11回	偏導関数	合成関数の偏導関数
第12回	偏導関数	2変数関数の平均値の定理
第13回	偏導関数の応用	2変数関数の極大・極小
第14回	偏導関数の応用	陰関数定理
第15回	偏導関数の応用	条件付き極大・極小

教 科 目 名	線形代数	担当教師名	引地政征
	Linear algebra		
学科・学年・期	情報処理科・1学年・後期	必選・単位数	選択・2単位

[授業の目標・方針]

工業系の技術に必要な線形代数の基礎を学ぶ。ベクトルと行列の基本演算ができ、連立一次方程式を解くために行列を利用することができるようになることを目標とする。

[履修に必要なこと]

高校程度の数学の知識を有すること。

[成績評価方法]

レポート課題を中心として総合的に評価する。

[教科書]

高専の数学2 田代嘉宏/難波完爾 森北出版

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ベクトル	ベクトルの性質と演算
第 2 回	平面のベクトルと図形	直線や円とベクトルの関係
第 3 回	空間のベクトルと図形	直線の方程式と平面の方程式
第 4 回	行列の定義	行列の定義と和の演算
第 5 回	行列の積	行列の積の演算手法
第 6 回	逆行列	逆行列の定義と演算手法
第 7 回	連立一次方程式	行列を用いた連立一次方程式の解法
第 8 回	一次変換	一次変換の定義
第 9 回	行列式の定義と性質	行列式の定義と計算方法
第 10 回	行列式の展開と積	行列式の展開手法と積の計算
第 11 回	逆行列と連立一次方程式	逆行列を用いた連立一次方程式の解法
第 12 回	掃き出し法	掃き出し法による連立一次方程式の解法
第 13 回	一次従属・一次独立	一次従属と一次独立の定義
第 14 回	行列の階数	行列の階数の定義
第 15 回	行列の固有値	行列の固有値の意味と計算方法